

平成28年7月14日

記者発表資料

(県政・小田原記者クラブ同時発表)

株式会社ブルックスホールディングス及び大井町と 「未病いやしの里センター(仮称)」に関する協定を締結しました！

県では、「県西地域活性化プロジェクト」に基づき、県西地域が「未病の戦略的エリア」であることをアピールする拠点施設として、「未病いやしの里センター(仮称)」の設置を推進しています。

「未病いやしの里センター(仮称)」は、「未病」についての情報発信機能や地域の活性化につなげるための「にぎわい」の創出機能などを持った施設として設置するもので、民間事業者が整備主体となるものです。

この「未病いやしの里センター(仮称)」事業に関し、昨年8月に採択した最優秀提案の提案者である株式会社ブルックスホールディングス及び大井町が基本計画(案)をとりまとめましたので、これを機に、県は両者と連携・協力に関する基本協定を締結しました。

今後、「未病いやしの里センター(仮称)」事業を実施するための連携・協力の場(官民協働のプラットフォーム)として、3者による連絡会議を設置し、基本計画(案)の内容を精査しながら、実現に向けて取り組んでまいります。

【株式会社ブルックスホールディングスについて】

コーヒーを中心とした商品の通信販売事業を行う企業グループ。平成24年に現在地に「ブルックス大井事業所」を設置。

【資料1】未病いやしの里センター(仮称)事業に係る連携・協力に関する基本協定書

【資料2】「未病いやしの里センター(仮称)」基本計画(案)の概要

(問い合わせ先)

神奈川県政策局自治振興部地域政策課

課長代理

重田

電話045-210-3253

県西地域活性化グループ

塚本

電話045-210-3275

**未病いやしの里センター（仮称）事業に係る
連携・協力に関する基本協定書**

株式会社ブルックスホールディングス（以下「甲」という。）、大井町（以下「乙」という。）及び神奈川県（以下「丙」という。）は、未病いやしの里センター（仮称）（以下「本件施設」という。）事業（以下「本件事業」という。）に関し、次のとおり基本協定（以下「本協定」という。）を締結する。

（目的）

第1条 本協定は、「『未病いやしの里センター（仮称）』基本方針」及び「『未病いやしの里センター（仮称）』概略提案募集要領」に定めるもののほか、甲、乙及び丙が相互に連携・協力し、本件事業を実施するために必要な事項を定めるものとする。

（連携協力義務）

第2条 甲、乙及び丙は、官民協働における適切な役割分担のもとで、相互に連携・協力して、本件事業を円滑に推進しなければならない。

（役割分担）

第3条 本件事業における甲、乙及び丙の役割は、次の表のとおりとする。

区 分	役 割
(1) 甲	ア 本件施設の設置に必要な土地及び建物を提供すること。 イ 本件施設（県展示施設を除く。）を自己の負担により設計、整備及び運営すること。 ウ 県展示施設の設置に必要な場所を丙に貸し付けること。 エ 協力事業者、テナント等の募集その他の運営体制の整備に関すること。
(2) 乙	ア 県西地域の他の市町との地域間連携を図ること。 イ 本件施設との連携により、相乗効果を生み出すことができる取組みを推進すること。 ウ 本件施設が地域の交流拠点となるよう、地域の住民、事業者、民間団体等との連絡調整を行うこと。 エ 丙との連携により、地域再生計画をはじめとする地方創生に関する国の制度を活用すること。
(3) 丙	ア 県展示施設を自己の負担により設計、設置及び運営すること。 イ 未病を改善する取組みの普及・啓発及び広域的な発信を図ること。 ウ 「県西地域活性化プロジェクト」に位置付けられている事業との連携を図ること。 エ 本件施設と他の未病に関連する取組みとの広域的な連携を図ること。 オ 乙との連携により、地域再生計画をはじめとする地方創生に関する国の制度を活用すること。

(連絡会議の設置)

第4条 本件事業の円滑な推進を図るため、連絡会議を設置する。

2 連絡会議は、次に掲げる事項について、協議、連絡調整及び情報交換を行うものとする。

- (1) 「『未病いやしの里センター（仮称）』基本計画案」に位置付けられた個別の整備計画の実現に向けた協議に関する事。
- (2) 本件事業の進行管理に関する事。
- (3) 本件事業の効果の検証に関する事。
- (4) その他本件事業に関し必要な事項

3 連絡会議の組織及び運営に関する事項は、甲、乙及び丙が協議して別に定める。

(協議)

第5条 本協定に定めのない事項について定める必要が生じた場合、又は本協定の解釈に関して疑義が生じた場合は、その都度、甲、乙及び丙が誠実に協議の上、これを定めるものとする。

この協定の締結を証するため、本協定書を3通作成し、甲乙丙がそれぞれ記名押印の上、各自1通を保有する。

平成28年7月14日

甲 東京都中央区築地4-10-7
株式会社ブルックスホールディングス
代表取締役社長 小川 裕子

乙 神奈川県足柄上郡大井町金子1995
大井町長 間宮 恒行

丙 神奈川県横浜市中区日本大通1
神奈川県知事 黒岩 祐治

未病いやしの里センター（仮称）基本計画（案）の概要

1 未病いやしの里センター（仮称）の位置づけ

県西地域を「未病の戦略的エリア」としてアピールしていくため、未病に関する総合的な普及啓発を行うとともに、地域の活性化につながる「にぎわい」を創出するための核となる拠点施設。

2. 「未病いやしの里センター（仮称）」の基本コンセプト

にぎわいを生む：県西地域の新たなにぎわいの核として人々が未病改善の取組みに出会う場

未病を改善する：にぎわい機能と連携し楽しみながら未病改善の取組みを実践できる場

産業を活性化する：未病に関する知識と技術を結集し未病関連産業の起業を支援する場

3 計画地の概況

計画地：足柄上郡大井町山田 300 番
他（現 ブルックス大井事業所）
敷地面積：607,878.22 m²



【周辺交通網図】



【広域アクセス図】

4 施設整備コンセプト

子どもも大人も楽しみながら、丈夫な体と心づくりに向けた様々な「体験」を提供できる、遊・食・学の3拍子揃った「健康創出型テーマパーク」としての整備を目指す。



・3つのテーマ

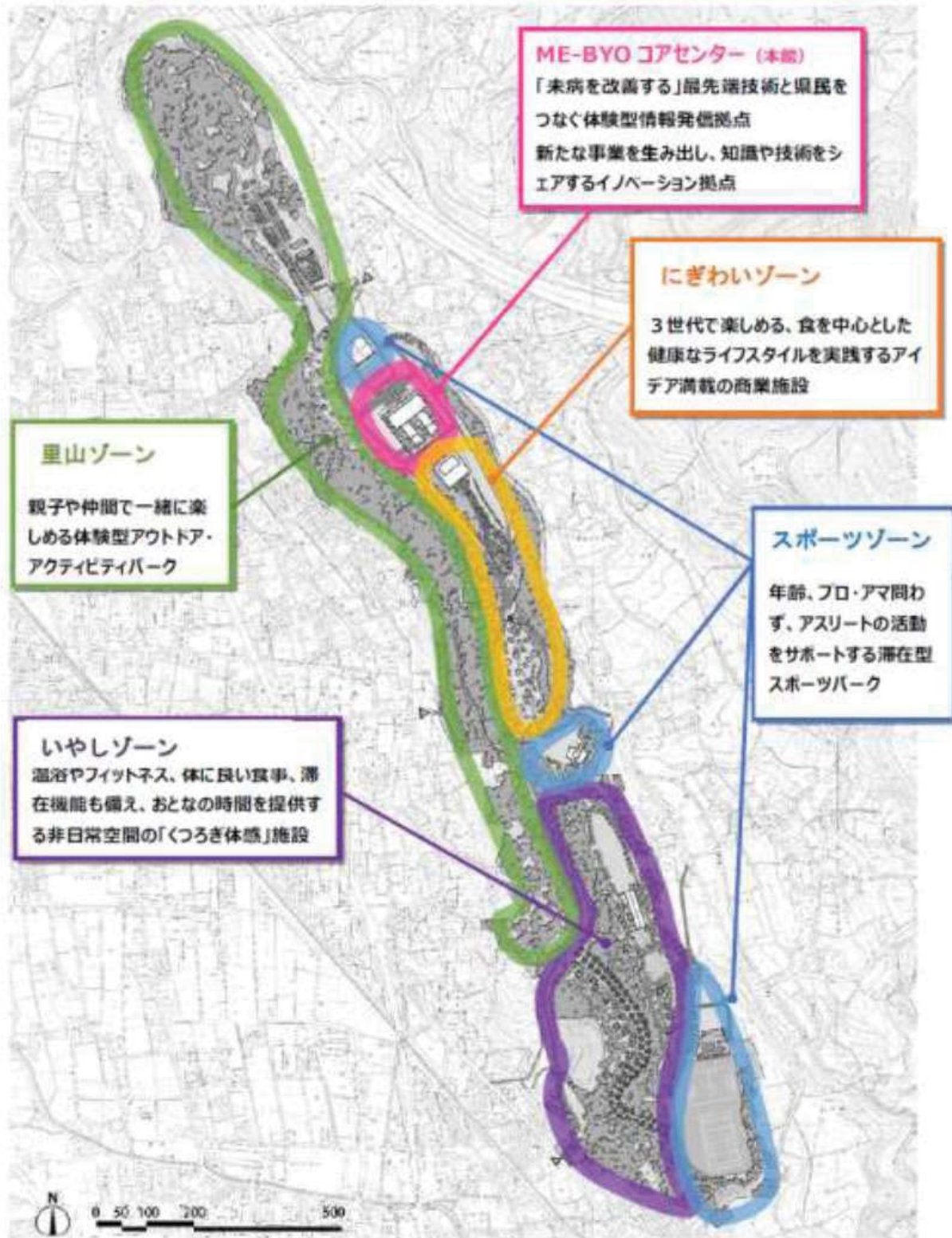
「遊」：大人も子供も楽しみながら丈夫な体と心づくり！

「食」：体に良い食を日々の生活習慣に！

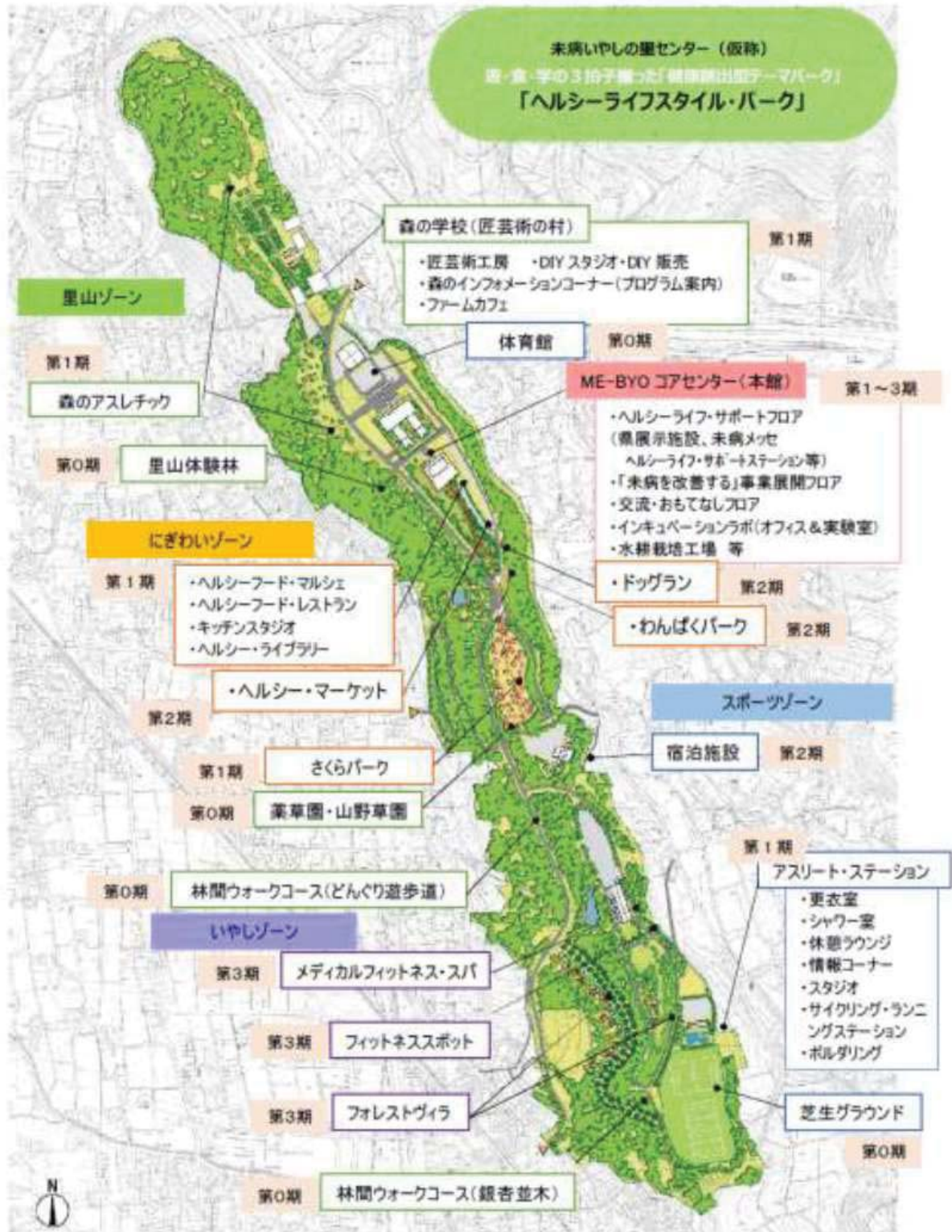
「学」：最先端の知識でヘルシーライフをサポート

5 ゾーニング

既存施設の状況、立地条件等ふまえ、5つのゾーンは以下のゾーニングで展開する。



全体配置計画図



7. ゾーン別 3つのテーマの展開イメージ

各ゾーンはそれぞれひとつのテーマに特化したゾーンではなく、遊・食・学の3つのテーマに関する施設を重層的に導入し、60ヘクタール全体での展開を図る。

(1) ME-BYO コアセンター(本館)

「未病を改善する」最先端技術と県民をつなぐ「体験型・情報発信拠点」
新たな事業を生み出し、知識や技術をシェアするイノベーション拠点

3つのテーマ 導入施設の展開イメージ		
遊	食	学
【5・6階】 ●レセプションルーム ●カンファレンスルーム ●国際交流センター(海外大使館・領事館交流センター) ●ルーフガーデン	【2階】 ●ラウンジカフェ ・ブルックスいやしカフェ ・未病薬膳カフェ ・有名ホテル監修ワールドカフェ ・試飲コーナー 【3階】 ●ワールドレストラン(構想) ・和・洋・エスニックレストラン 【地下1階】 ●水耕栽培工場	【1階】 ●インキュベーションラボ(実験室) 【2階】 ●県展示施設 ●未病メッセ+イベントスペース ●ヘルシーライフ・サポートステーション ・健康チェックセンター(ワンコイン検査、ゲノム(アーマ)検査、漢方研究所等) ・健康診断センター ・機能訓練型デイサービス ・食の相談コーナー 【3階】 ●インキュベーションラボ(事務所) ・健康関連ベンチャー育成ラボ ・大学・企業研究ラボ ●未病産業オフィス 【4階】 ●セミナールーム ●学校・研修施設 ・看護・介護シミュレーションセンター

(2) にぎわいゾーン

3世代で楽しめる、食を中心とした健康なライフスタイルを実践するアイデア満載の商業施設

3つのテーマ 導入施設の展開イメージ		
遊	食	学
●ヘルシー・マーケット ●わんぱくパーク ●ドッグラン ●さくらパーク(イベント広場)	●ヘルシーフード・マルシェ ●ヘルシーフード・レストラン	●キッチンスタジオ ●ヘルシー・ライブラリー

(3) スポーツゾーン

年齢、プロ・アマ問わず、アスリートの活動をサポートする滞在型スポーツパーク

3つのテーマ 導入施設の展開イメージ		
遊	食	学
<ul style="list-style-type: none"> ●芝生グラウンド ●アスリート・ステーション ・スタジオ ・ボルダリング ●宿泊施設 ●体育館 		<ul style="list-style-type: none"> ●アスリート・ステーション ・スタジオ ・情報コーナー

(4) 里山ゾーン

親子や仲間と一緒に楽しめる体験型アクティビティパーク

3つのテーマ 導入施設の展開イメージ		
遊	食	学
<ul style="list-style-type: none"> ●森のアスレチック ●森の学校(匠芸術の村) ●林間ウォークコース(ウェアラブル端末レンタルフィールド) 	<ul style="list-style-type: none"> ●里山体験林 ・体験農園 ●森の学校(匠芸術の村) ・ファームカフェ 	<ul style="list-style-type: none"> ●森の学校(匠芸術の村) ・DIYスタジオ ・森のインフォメーションコーナー ●里山体験林、林間ウォークコース(間伐体験、自然観察等) ●薬草園、山野草園

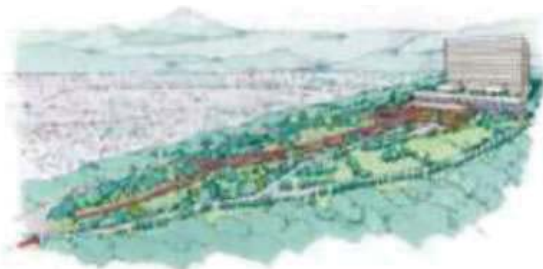
(5) いやしゾーン

温浴やフィットネス、体に良い食事、滞在機能も備え、おとなの時間を提供する、非日常空間の「くつろぎ体感」施設

3つのテーマ 導入施設の展開イメージ		
遊	食	学
<ul style="list-style-type: none"> ●メディカルフィットネス・スパ ・スパ、大浴場 ・プール ・溶岩浴・温熱セラピー ・コンディショニングセンター(美容、鍼灸・整体等) ・リラクゼーションショップ ●フォレストヴィラ ・健康住宅、テーマ別住宅 ・滞在型コテージ ●フィットネススポット 	<ul style="list-style-type: none"> ●メディカルフィットネス・スパ ・美肌カフェ ・薬膳食房 	<ul style="list-style-type: none"> ●メディカルフィットネス・スパ ・フィットネススタジオ ・ホットヨガスタジオ、ヨガスタジオ

8 イメージパース

ME-BYOコアセンター(本館) & にぎわいゾーン 鳥瞰スケッチ



にぎわいゾーン エントランス イメージスケッチ



ヘルシーマーケット(にぎわいゾーン) イメージスケッチ



アスリート・ステーション及び芝生グラウンド(スポーツゾーン) イメージスケッチ



メディカルフィットネス・スパ及びフィットネススポット(いやしゾーン) イメージスケッチ



9 整備効果

(1) 来場者数の想定

第3期整備後の来場者数は、**年間 100 万人**を見込む。

(2) 売上げ見込み

第3期整備後の総売上げは、**約 20 億円/年**を見込む。

また、第3期整備後から3年後の平成36年度に黒字化を目指す。

10 事業スケジュール

未病いやしの里センター（仮称）の整備は、下記の段階的な整備を想定している。

		事業スケジュール ●:オープン ---:設計・申請等 →:整備工事					
		0期		1期	2期		3期
		H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度以降
ME-BYO コアセンター (本館)	B1F・1F 水耕栽培工場等		→●				
	2F ヘルシーライフ・サポートフロア	---→	→●				
	3・4F 未病の改善事業展開フロア	---事業者募集等		---→	→●		
	3・4F ※上記のうち学校・研修施設		---事業者募集等		---→		→●
	5・6F 交流・おもてなしフロア	---→	→●				
	7～18F (構想中)	---事業者募集等			---→		→
	にぎわい ゾーン	ヘルシーフード・マルシェ ヘルシーフード・レストラン等	---→	→●			
ヘルシー・マーケット		---事業者募集等		---→	→●		
さくらパーク		---→	→●				
スポーツ ゾーン	芝生グラウンド	→●					
	アスリート・ステーション (クラブハウス)	---→	→●				
	宿泊施設		---→		→●		
	体育館	●					
里山 ゾーン	里山体験林	→●					
	森の学校(匠芸術の村)		→●				
	森のアスレチック	---→	→●				
	林間ウォークコース	→●					
	薬草園・山野草園	→●					
いやし ゾーン	メディカルフィットネス・スパ	---FS, 事業者募集等			---→		→●
	フォレストヴィラ	---事業者募集等			---→		→●
	フィットネススポット				---→		→●

※全ての施設名称は、事業内容を具体化するためのものであり、現段階での素案です。